

質問書に対する回答

件名)関東支社管内 軸重計設備更新工事

質問番号	入札説明書 図面等の書号	質問内容	質問回答
1	設計図 P82 三郷南IC 軸重計設備システム 系統図	新設する軸重計データ処理装置に既設検出部を接続する仕様となっていますが、新設検出部と既設検出部の仕様が違う場合、接続が不可能です。既設軸重計データ処理装置を残して既設検出部と接続するか、既設検出部の接続は本工事対象外としていただけないでしょうか？	設計図AE-01に記載のとおりです。
2	関東支社管内 軸重計設備更新工事 特記仕様書 p24~46	新設機器 各料金所に新設する軸重計データ処理装置は、生活ブースや料金事務室が設置場所となっていますが、軸重計データ処理装置が屋外設置可能であれば、生活ブースや料金事務室以外に設置してもよろしいでしょうか？	特記仕様書3-3-4に記載のとおりです。
3	関東支社管内 軸重計設備更新工事 特記仕様書 p.49 第3章 機器仕様3-4-1(1)	(ク)データ表示機能 「計測した軸重値等のデータ表示を行う。」とあります 軸重計データ処理装置に付属するノートPCに接続して軸重値等のデータを表示することにより、特記仕様書記載の機能を実現しますがよろしいでしょうか？	特記仕様書3-4-1(1)に記載のとおりです。
4	関東支社管内 軸重計設備更新工事 特記仕様書 p.49 第3章 機器仕様3-4-1(2)①.	①計測部 「計測部の仕様は以下によるものとする。 1. 計測装置(計測部) (ア) CPU : Core i3 6100 3.7GHz)以上 (イ) メモリ : 8GB 以上 (ウ) 补助記憶容量 : 500GB 以上(RAID1で構成可能なこと) (エ) 光学ドライブ : DVD マルチドライブ×1 以上 (オ) 対応OS : Windows10 相当以上 (カ) インタフェース : LAN 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T×1 以上 (キ) A/D 変換器 : 端子箱からのアナログ信号をデジタル信号に変換して出力できる機能を有すること (ク) 外部機器出力 : 警告表示板への出力機能を有すること (ケ) 端子箱 : 検出部からのアナログ信号(3ch)を接続できること (コ) 出力端子 : HDMI×1 以上、USB2.0×2 以上、ミニステレオ×1 以上」とあります 下記仕様にて特記仕様書記載の機能を実現しますがよろしいでしょうか？ (ア)～(カ)、(コ)は表示部(軸重計データ処理装置付属のノートPC)で実現 (ケ)端子箱:検出部からのアナログ信号(6ch/1レーン)を接続	特記仕様書3-4-1(2)に記載のとおりです。
5	関東支社管内 軸重計設備更新工事 特記仕様書 p.53 第3章 機器仕様 3-4-11	接続箱 「検出部から軸重計データ処理装置までを直接機器付属ケーブルで接続する場合は、接続箱を不要としてよろしいでしょうか？」	特記仕様書3-4-11に記載のとおりです。
6	関東支社管内 軸重計設備更新工事 特記仕様書 p.58 第3章 機器仕様3-4-15	保温装置 「保温装置は、検出部内のロードセルの凍結防止のために設置するもので、検出部内部に取り付ける」とありますが、 使用温度範囲が-40℃～80℃の検出部であれば保温装置は不要となります。保温装置は不要としてよろしいでしょうか？	特記仕様書3-4-15に記載のとおりです。
7	重量計取締機器標準仕様書 (案)軸重計設備p.7 第1章 軸重計設備1-6	主要性能 「(b)検定格 軸重20ton(=F.S.)(c) 総合精度 F.S.に対して±10%以内」とありますが、 路面の勾配や歛等極端な凹凸、車両の速度変化により車両が傾いたり振動が生じる場合は、除外としてよろしいでしょうか？	標準仕様書1-6、機械仕様書5.1.2に記載のとおりです。